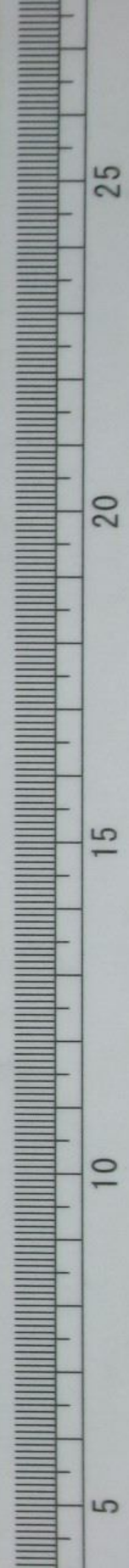


高州逸集二

柳田文庫
文庫11
A 279





許免控版此存四年九十九治明
 德 齋 叔
 京 東
 版 苑 園 香 家
 柴田花守著
 48-8878

可成多成

多

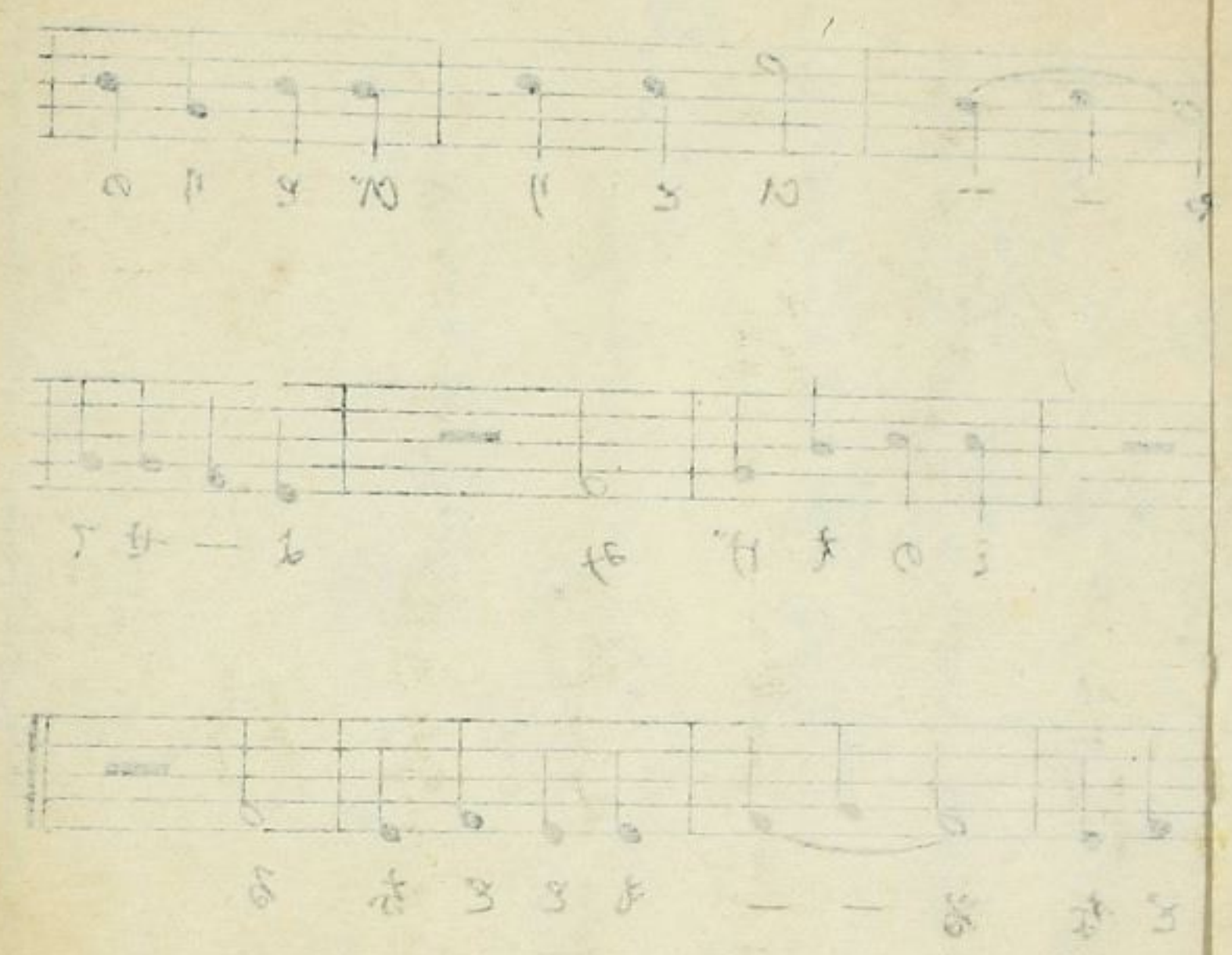
可成多成



東照宮乃清遺訓子孫下と
法の國を保つ大將に常く學士
於批判の流り強きを以んと
治はして國運に安んずるなり
清の待望の待望の待望の待望
あるも國の運の強きなり
と此の流り無慮なる事
も流の強きなり
清の待望の待望の待望の待望
ありてなり。是れ文部省
雜誌の學問の強きなり
これと女の強きなり



以下皆ナ之ニ準シテ唱フベシ



愛國かぞえ謡

一ツツヤヒとらぐのこは
はぐさゝもていふさくち
もへあさ
ニツツヤヒとらぐのこは
はぐさゝもていふさくち
もへあさ
ハツツヤヒとらぐのこは
はぐさゝもていふさくち
もへあさ

い(あまの)

十(ト)ヤ *あまのこゝろ* *い*

あまのこゝろ *い*

あまのこゝろ

百(も)千(ち) *あまのこゝろ* *い*

あまのこゝろ *い*

あまのこゝろ

孝(か)行(ぎょう) *かどく* *い*

一(ヒト) *あまのこゝろ* *い*

あまのこゝろ *い*

あまのこゝろ

二(ニ) *あまのこゝろ* *い*

あまのこゝろ *い*

あまのこゝろ

三(ミ) *あまのこゝろ* *い*

あまのこゝろ *い*

おもしろ

十^ラ十^ハ十^ヤおもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろい

百^チ十^ハ十^ヤおもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

おもしろいおもしろい

Handwritten text in a cursive script, likely Persian or Urdu, consisting of approximately 10 lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely Persian or Urdu, consisting of approximately 10 lines of text.

やすくもろびとたりたち
うあ——むらあぐりのいね
ちまほらとあにぬと作
りかきまらきめごとく細う
ほ——むらあぐりのいね
にらあぐりのいね
ま——むらあぐりのいね
あ——むらあぐりのいね
あ——むらあぐりのいね

いろは仮字謡

らまら——まああ
あ——らんらああ
は——あはあああ
に——ににににに
ほ——ほほほほほ
し——ししししし
あ——あああああ
ち——ちちちちち

以下皆ナ之ニ準シテ唱ノベシ

S (1)あみの いとくと にくみの ごかん わすれ さへせ

T ろこの いとくと にくみの ごかん わす れさ

B ろこの いとくと にくみの ごかん わす れさ

ふや きがらく な きがらく か

へせみや きがらく かきがらく か

へせみや きがらく な きがらく かきがらく か

かみあはれ
 へせみや
 へせみや
 へせみや
 へせみや

あはれみや
 へせみや
 へせみや
 へせみや
 へせみや

S
T
B

以下皆ナ之ニ準シテ唱ノミシ

開化氣樂館

一 神のいさむるまはたごめん

二 神のいさむるまはたごめん

三 神のいさむるまはたごめん

四 神のいさむるまはたごめん

五 神のいさむるまはたごめん

六 神のいさむるまはたごめん

七 神のいさむるまはたごめん

八 神のいさむるまはたごめん

Handwritten text in Arabic script, line 1 of page 5.

Handwritten text in Arabic script, line 2 of page 5.

Handwritten text in Arabic script, line 3 of page 5.

Handwritten text in Arabic script, line 4 of page 5.

Handwritten text in Arabic script, line 5 of page 5.

Handwritten text in Arabic script, line 6 of page 5.

Handwritten text in Arabic script, line 7 of page 5.

Handwritten text in Arabic script, line 8 of page 5.

Handwritten text in Arabic script, line 9 of page 5.

Handwritten text in Arabic script, line 1 of page 9.

Handwritten text in Arabic script, line 2 of page 9.

Handwritten text in Arabic script, line 3 of page 9.

Handwritten text in Arabic script, line 4 of page 9.

Handwritten text in Arabic script, line 5 of page 9.

Handwritten text in Arabic script, line 6 of page 9.

Handwritten text in Arabic script, line 7 of page 9.

Handwritten text in Arabic script, line 8 of page 9.

Handwritten text in Arabic script, line 9 of page 9.

三十二

Handwritten Arabic script line 1

Handwritten Arabic script line 2

Handwritten Arabic script line 3

Handwritten Arabic script line 4

Handwritten Arabic script line 5

Handwritten Arabic script line 6

Handwritten Arabic script line 7

Handwritten Arabic script line 8

四千

五千

六千

七千

八千

九千

十千

一万

Handwritten Arabic script line 1

Handwritten Arabic script line 2

Handwritten Arabic script line 3

Handwritten Arabic script line 4

Handwritten Arabic script line 5

Handwritten Arabic script line 6

Handwritten Arabic script line 7

Handwritten Arabic script line 8

この諸新曲も出て
あつた。とて女もこれ月
きもの一着もしてあつた
かゝるおもしろい

夫物の人心を感動し風化に益あるもの
樂も若くはあり。兒童乃教育に於ける
最も缺く可からざるもの。何とあはれ
鞭朴の威を以てして自然の邪念を
消し欲く故舞りに善く遷て自ら己を
能まざるしむれ也。宜き舞を
音れ人を感する。善と不善とを採り
樂曲は別善道。善道は
則不善を誘ふ。故曰く樂は則ち舞
也。又曰く鄭聲を放ると。笑園柴田
翁此れ見ゆあり。頃ち歌章數首を製
して兒童の教化を補ふ。友人杜永

君梅軒之をよみし年、所して譜を作
原也。年試之を祇詠き、其辭婉
比して而して章。其旨醇厚、予而して
正人、予してこれ辭は是の留むを志し、
雅頌の遺響をゆるめ、予して原し。余因
予して音首を調へ、之の國譜を作り、
童蒙に示し、是を跋とす。

四宮飛訥堂選

心野文書

樂曲の人心を感懐し、
志願の人心を感懐し、
志願の人心を感懐し、
志願の人心を感懐し、
志願の人心を感懐し、

定價六錢五厘

明治十九年四月七日 版權免許

明治十九年八月十日 追加御届

牛込區東五軒町三十八番地

佐賀縣平民

著述人 此木田花守

麴町區有樂町三丁目三番地

佐賀縣士族

校訂人 秋永梅軒

牛込區東五軒町三十八番地

佐賀縣平民

出版人 柴田禮一

010190519517

